

令和6年3月21日

教職員・学生の皆様へ

三重大学保健管理センター所長

小林 由直

「麻しん（はしか）」についての注意喚起

本年2月から麻しん（はしか）の患者が国内で増加しています。日本は2015年に世界保健機構（WHO）から麻しん排除国に認定され、日本に土着する麻しんウイルスは消滅しました。しかし、麻しんは2022年から世界的に流行しており、海外からの輸入事例を発端として日本国内でも患者の発生が見られます。麻しんの感染力は大変強く、今後さらに感染が広がる可能性があります、注意が必要です。

本学における「麻しん（はしか）」罹患者の発生報告は現時点ではありませんが、教職員や学生の皆様には、十分な意識を持って対応いただきますようお願いいたします。

発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、全身の発しん等の症状があり、

1. 麻しん患者と接触していた。
 2. 最近、麻しん流行国への渡航歴がある。あるいは、流行地域に出かけていた。
- などの場合は、「麻しん（はしか）」の疑いがあります。

「麻しん（はしか）」の疑いがある場合は、事前に医療機関に連絡し「麻しん（はしか）」の疑いがあることを伝えたいうえで、指示に従い受診してください。

麻しんの予防にはワクチンの2回接種が有効です。ワクチンの未接種または2回接種が確認できない方は、ワクチン接種をご検討ください。

情報の詳細については以下よりご確認ください。

三重県：<https://www.pref.mie.lg.jp/YAKUMUS/HP/m0068000016.htm>